○ 敗者審判の流れについて (R6高総体)

## ◎学校対抗戦の場合

- 1 その試合で負けた時、主審をしてもらう。2面展開の場合は2名。
- 2 <u>その試合を担当した主審</u>は、審判用紙(全試合分をまとめる)とシャトルのみを本部に持って行き、審判用紙のチェックを受ける。審判用具ボックスはコートに置いておくこと。 <u>敗者(次の試合の主審)</u>は、試合をしたコートで待機する。スタッフから審判用紙、シャトルを受け取り、主審をする。
- 3 主審は、整列させ、オーダーを確認する。
- 4 担当する試合の**選手の名前と最初にサーブする人、エンド、サービス高**を確認し挨拶をする。
- 5 主審をする時は**主審名(自分の名前)**を記入すること。
- 6 インターバルの時間(11点時60秒、ゲーム間120秒)をしっかり計ること。残り20秒前(40秒と100秒)にはコートに選手が入るように指示すること。(第〇コート20秒、選手に向かって2回繰り返す)
- 7 **勝者にはサイン**を必ず記入してもらうこと。また<u>**点数の記入</u>をもれなく行うこと。</u>**
- 8 それぞれの試合終了後、主審は**試合終了時刻**を記入すること。
- 9 3試合(マッチ) 先取した時点で学校対抗戦終了。
- 10 全て記入したら、審判用紙(全試合分をまとめる)、シャトルを持ち、本部に来てチェック後、終了とする。

## ◎個人戦ダブルスの場合

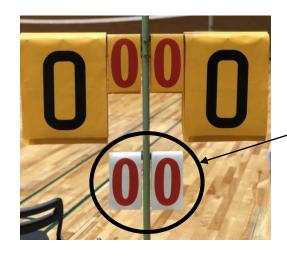
- 1 その試合で負けた時、主審をしてもらう。
- 2 <u>その試合を担当した主審</u>は、審判用紙とシャトルを本部に持って行き、審判用紙のチェックを受ける。審判用具ボックスはコートに置いておくこと。
  - <u>敗者(次の試合の主審)</u>は、試合をしたコートで待機する。スタッフから審判用紙、シャトルを受け取り、主審をする。
- 3 主審は、担当する試合の選手の名前と最初にサーブする人、エンド、サービス高を確認し 挨拶をする。
- 4 主審をする時は主審名(自分の名前)を記入すること。
- 5 インターバルの時間(11点(8点))時60秒、ゲーム間120秒)をしっかり計ること。 残り20秒前(40秒と100秒)にはコートに選手が入るように指示すること。

(第〇コート20秒、選手に向かって2回繰り返す)

- 6 **勝者にはサイン**を必ず記入してもらうこと。また**点数の記入**をもれなく行うこと。
- 7 それぞれの試合終了後、主審は**試合終了時刻**を記入すること。
- 8 全て記入したら、審判用紙、シャトルを持ち、本部に来てチェック後、終了とする。

## ◎個人戦シングルスの場合

- 1 その試合で負けた時、主審をしてもらう。
- 2 <u>その試合を担当した主審</u>は、審判用紙とシャトルを本部に持って行き、審判用紙のチェックを受ける。審判用具ボックスはコートに置いておくこと。
  - <u>敗者(次の試合の主審)</u>は、試合をしたコートで待機する。スタッフから審判用紙、シャトルを受け取り、主審をする。
- 3 主審は、担当する試合の選手の名前と最初にサーブする人、エンド、サービス高を確認し 挨拶をする。
- 4 主審をする時は**主審名(自分の名前)**を記入すること。
- 5 インターバルの時間(11点時60秒、ゲーム間120秒)をしっかり計ること。 残り20秒前(40秒と100秒)にはコートに選手が入るように指示すること。 **(第〇コート20秒、選手に向かって2回繰り返す)**
- 6 **勝者にはサイン**を必ず記入してもらうこと。また**点数の記入**をもれなく行うこと。
- 7 それぞれの試合終了後、主審は試合終了時刻を記入すること。
- 8 全て記入したら、審判用紙、シャトルを持ち、本部に来てチェック後、終了とする。



## ◆得点板(カウンター)の注意事項 学校対抗戦の場合

- (1) チェンジエンズの度に、得点表示が<u>当該</u> 選手のいるコートと連動するようにする こと。
- (2) 補助員は得点が隠れないように、得点板の<u>横に立つこと</u>。
- (3) 得点板 (カウンター) は、本部席から得 点が確認できるような向き (位置) に設 置すること。

※学校表示、選手名表示もチェンジエンズ時に 交換すること